

■皆様より頂いたご提案

- A 誰も(子ども、母親、若者、高齢者)がいつでも気軽に利用できる憩いの場
- B 地域活性化に向けた活動への切っ掛けの場として
- C 資料館との相乗効果(集客効果、資料館当番)
- D その他(何でも結構です)

性別	区分	提案
女性	A	・子ども達から高齢者までが喜ばれる図書の設置。給湯施設、エアコン、テーブル・椅子も必要だと思います。 ・最初から多くを求めていくと大変だと思います。その都度提案があれば検討しながら有意義な場になればと思います。
	D	・管理の部分がどうなるのかな？と思います。現在資料館は当番製で半日交代で土・日になっていますが、皆さんが気軽に利用できる憩いの場としたら毎日利用者があれば開館しないといけなと思います。管理責任はどうなるのでしょうか？
男性	A	・図書コーナー:絵本・マンガを中心に各家にあるものを提供して貰う。 ・スポーツコーナー:卓球台を設置、少し走りまわれるスペースがとれるとゲー。 ・おしゃべりコーナー:給湯設備、いす等をおいて、茶を飲みながらおしゃべりできるスペース。
	D	・日常の運営管理は老人会にお願いしたらどうでしょう。できれば、曜日ごとに担当組を決めて、毎日(月水金)午後のみ利用可能にする。 ・空調は必須と思います。
	A	・高齢者が増えてますので、1人1人が孤立しないように、お茶などできる場所があればよいと思います。1人でいる時間をなるべく少なくしてあげて欲しいと思います。 ・グランドゴルフ、ゲートボールができない人のためにも、憩いの場が必要だと思います。
	B	・災害時の時には必要になるかもわかりません。
	C	・今の資料館は入りにくく、誰でもが来てもらえる場所にして欲しい。
	D	・私たち中途の年齢(50歳までの方とか)でも集まれる場所があればよいと思います。 ・一部の方だけで活用しておられても意味がないようにしなければいけないと思います。
女性	D	・調理設備を整えて、料理講習会を(田舎料理や漬物、子供用の手づくりおやつ、パンケーキ等作って食べて)
	D	・千僧供町にも災害対策用品を購入して欲しいと思います。(チェーンソー、発電機、投光器、プロジェクター、スクリーン、ワイヤレスアンプ、ビデオカメラ、避難用テント、簡易トイレ、救急用品、ガス、ナベ、)何が起こるかわからないのでお願いしたい。
女性	A	・絵本、小説、マンガ、料理本など置く。 ・体重計(体脂肪計)、血圧計など健康チェックができる物を置いておく。
	B	・野菜や菜の花など販売(無人販売でも)
	C	・資料館の中に入りづらいので、入りやすくする工夫があればいいと思います
	D	・すぐにお茶が飲めるように粉茶や電子ケトルなんかを置いておく。 ・関係ないですが、会所に電子レンジとか炊飯器がないのは不便では？
	A	・夏休み中に限定して、子ども達の遊びや時に勉強などもやれる場所、ラジオ体操の前やその後など(日中の暑さを考えて午前中など、子どもだけでは危ないので子ども会等で当番を決める)
	B	・高齢者の方が小学生に昔のあそびを教えたりする日があると(月1回でも)楽しいと思います。また、乳幼児とお年寄りが関われる機会(ふれあいあそびなど)があるといいなと思います。
	D	・実際、千僧供町に住んでいても資料館の中がどうなっているのか全く知りません。何か、資料館の入り口に旗?看板?(色が明るくかわいらしい物)があると入ってみようと思ったり、入りたいと思うのでは…と思います。
女性	A	・生涯学習講座のようなもの。寄植教室や高齢者の方から漬物のつけ方や野菜の上手な作付けの仕方など教えていただく場など…
	B	各戸で野菜を沢山作っておられると思います。千僧供町野菜市場などを作ってみては？
	D	・子ども達、お年寄りがいっしょに憩いの場として活用できる事はとてもいい事です、なかなか続けて行くという事はむずかしく、人手(昼間は仕事に行っておられ)がなかなかできないかな？

女性	A	・いこいの場、実現される日を楽しみにしています。足腰の弱っていく老人たちにとって大変有難いKとですが、子育てをしておられるお母さん達の交流の場となることも期待しています。時間のある老人達が好みの場を作りあげすぎないよう、若い人達の意見が通るような「手づくりの場」を期待します。若い人達の元気をもらえる場を期待します。
男性	A	・ミニ図書館のようなもので、ゆったりとくつろげる場所。母子向けだけでなく、高齢者の利用も近江八幡市の図書館に相談にのってもらえば良いと思います。
	D	・いつでも使えるのが良いのですが、管理が大変です。高齢者の協力も頂けないないか等、今後検討していった欲しいと思います。 ・あまり多くを望まないで、何が必要かしぼり込みが必要だと思います。
	D	・昔と違って交流が薄れがちになっている時代、大変良いことだと思いますが、反面、親たちが働きに出ている家庭が多く、子ども達と接する時間が少なく感じられ、いろいろ出番が多くなると何かと大変ではないでしょうか…希望者が話合っていることには賛同できますが、強制になると今いち難しいのでは？
	A	・高齢者は何かと忙しそうです。若者にも無理なように思います。維持費等負担にならないかとも思います。
	C	・物を売るといことはそんなに簡単なことでなく、慎重にした方が良いと思います。
	D	・若者にも魅力のあるまち… 行事を減らすことが一番と思います。
	A	・ゲートボール休息場所、ゲートボール材料・工具入れ場所。
	C	・毎月入場数何人ぐらいですか？
	D	・会所の床の間にある額など、一階資料館に並べる。
	A	・いつでも気軽に立ち寄って、遊んだりできれば良いと思います。
男性	A	・「ふれあいの場」「いきいき広場」等の館として、高齢者を中心に365日自由に使える場として活用。足腰の衰えから、畳の間ではなく板の間でくつろげる場つとして、自由に使えて、気がねせず、お膳立てしなくとも、自分達で使える(一定のルール作りは必要)と、高齢者がいきいきと暮らせるひとつの方策につながると思います。 ・子どもからお年寄りの交流を通した企画も入れていくと良いと思います。 ・365日ふれあいサロンが自主的に運営され、自分達で好きな曜日に好きな内容で活動できると、元気な高齢者ばかりのまちになると思われます。
	B	・わが家の味自慢やフリーマーケットでの手作り作品等の展示即売の定例的開催を通し、ふれあいの場で作品づくりへの拡大、生きがい作りで活性化。
	C	・子どもから年寄りまで含めた郷土史や年間計画による馬淵そして近江八幡史を学ぶことで、わが町をより深く知る。そして、高齢者からの体験談や伝承遊び、伝承料理を学ぶなど、学習効果も高め、郷土愛を育て高めることにつながると思います。
	D	・いわゆるゆ青年層、中年のニーズがつかめませんが、月1回位の頻度で、忙しい中、仲間意識を高めるとともに、ホッコリする何かが(具体的にイメージできない)、必要ではないでしょうか。
	A	・賛成です。町民が気軽に集える事には賛成します。
	B	・各家庭に不要になった物、また××を探しています、お安くお譲りくださいとか、張り紙で、町内に年を経ることにより不要になった(チャイルドシートなど)物を有効に利用できるような物を、再利用できるような施設、リサイクルセンター的な感じ。
	C	・反対、2Fで十分だと思います。
	D	・千僧供町の販売はインターネットで構築すべきです。ホームページを利用すればできます。問題はヤル気。
男性	A	・図書館で子どもが集まれる場所に。
	D	・そば美味しい年末楽しみです。がんばって協力します。
	A	・日曜サロン、資料館の開館時間帯に開放し、誰でも自由に集まれる場所の提供。
	B	・自家製野菜の販売。 ・千僧供産そばの販売。
女性	D	最近ギターや合唱等、仲間と音楽を楽しんだり、サークルを立ち上げて活動しようという方が増えています。お金がかかるのですが、防音室にして貸館というのはどうでしょうか？レッスンは家庭でできても、仲間とするのはある程度の広さと近所に迷惑にならない防音設備が必要です。できれば町民は安く、町外の方は少し高くしていただければ嬉しいです。是非実現を

女性	D	現在、ゲートボールで広場を利用されている高齢者の方々の休憩場所になっているようなので、これを拡大させる形で、誰でも気軽に利用できる憩いの場にできるといいと思います。ただ、管理面での課題は大きいと思っています。次世代への負担にならない形で運営できるように、みんなで知恵を出し合って考えたいと思います。助成金のことはありますが、期限を気にしてあせらずに、じっくりと話合うことが大切ではないかと思っています。
----	---	--